

# 早崎水中遺跡記者発表資料

中国南方系  
白磁(椀Ⅴ類)



中国南方系  
白磁(椀Ⅴ類)



中国南方系  
白磁(椀Ⅷ類)



中国南方系白磁  
(椀Ⅴ類)



国産染付  
磁器  
(18世紀)



中国福建省同安  
窯系  
青磁(皿Ⅲ類)



国産染付  
磁器  
(18世紀)



中国南方系  
白磁(皿Ⅲ類)

中国南方系  
白磁(椀Ⅳ類)



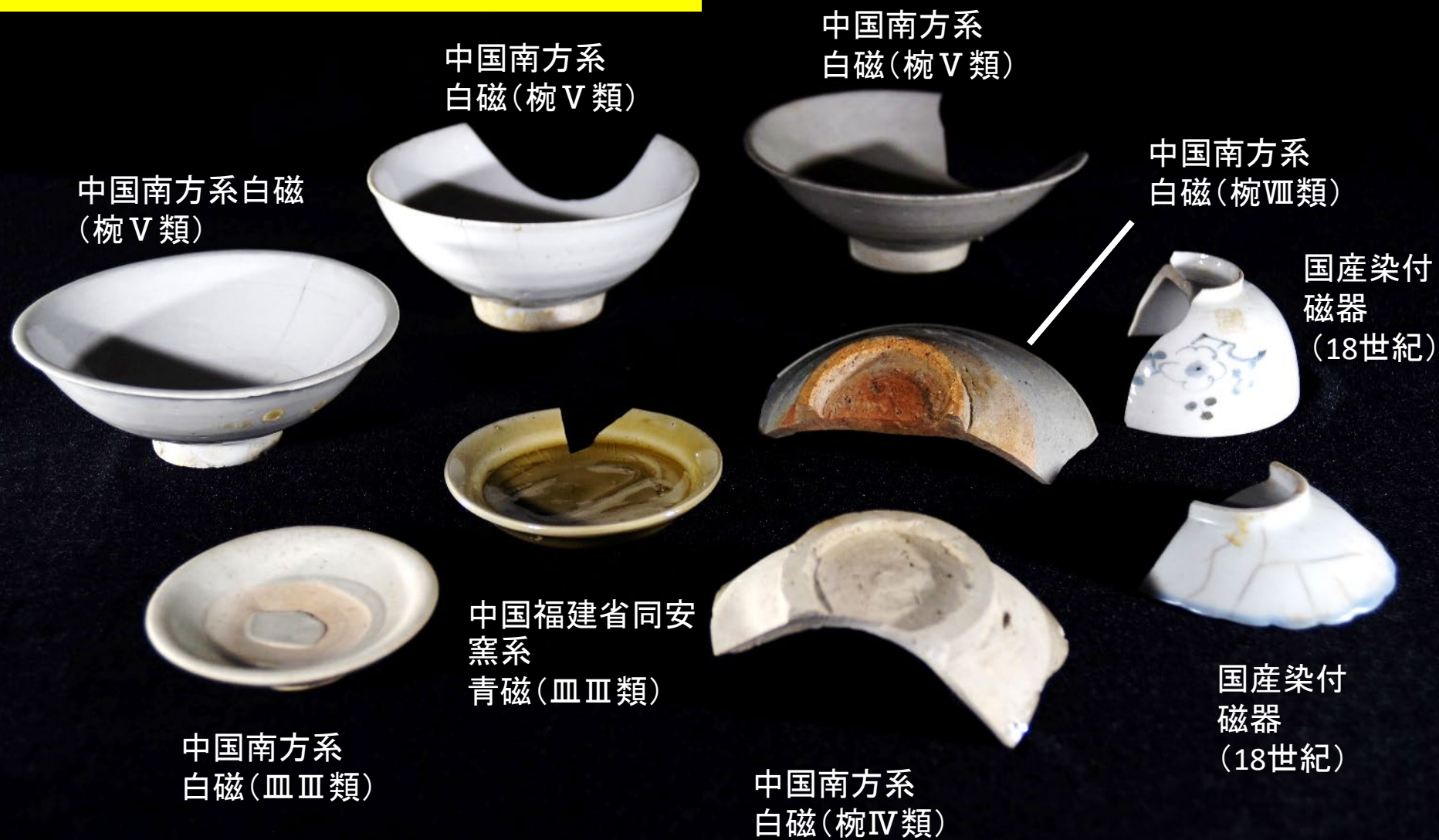
早崎水中遺跡調査団

- 早崎水中遺跡
- 香川県直島町寺島早崎
- 寺島北西の岬に設置された讃岐寺島灯台のある岬(早崎)の西岸側水中。



図1. 香川県遺跡地図より

## 6. 従来採集された資料の再調査



過去に採集された早崎水中遺跡出土陶磁器は、12～13世紀の所産が多い。右に示した磁器2点は18世紀代の所産と推定される。提供頂いた資料は海の中に長くおかれていたため、フジツボ等の海棲生物が付着していた一方、完形品も複数みられ、特に青磁・白磁の器面は経年変化が少ない、良好な保存状況でした。



蛇の目状の釉の剥取



同安窯系青磁(皿Ⅲ類) 中国南方系白磁碗Ⅷ類 碗Ⅳ類



中国福建省同安窯系 青磁(皿Ⅲ類)

底部に墨で「十」字が記されている。

博多遺跡での類例では「十」がみられるほかに、「十一」「百」「千」の場合も知られ、青磁の個数を示す可能性  
がある。ただし、博多遺跡では綱首(博多在住の宗出身の商人)等の名を記す場合もあると考えられている。



中国閩江流域産白磁



中国福建省同安窯系 青磁

早崎水中遺跡から出土したやきものの窯の系統が特定されているのは同安窯系青磁・龍泉窯系青磁や閩江(みんせい)流域産(閩清(義)(びんせい(ぎ))窯産)白磁です。



図 3 過去に採集された8世紀後半～9世紀後半の木材（スギ）が利用された刀の鞘





図 早崎水中遺跡第1次調査参加者  
集合写真 (2023年12月28日撮影)



図 早崎水中遺跡第1次調査風景  
水中ドローンによる海底調査 (2023年12月28日撮影)

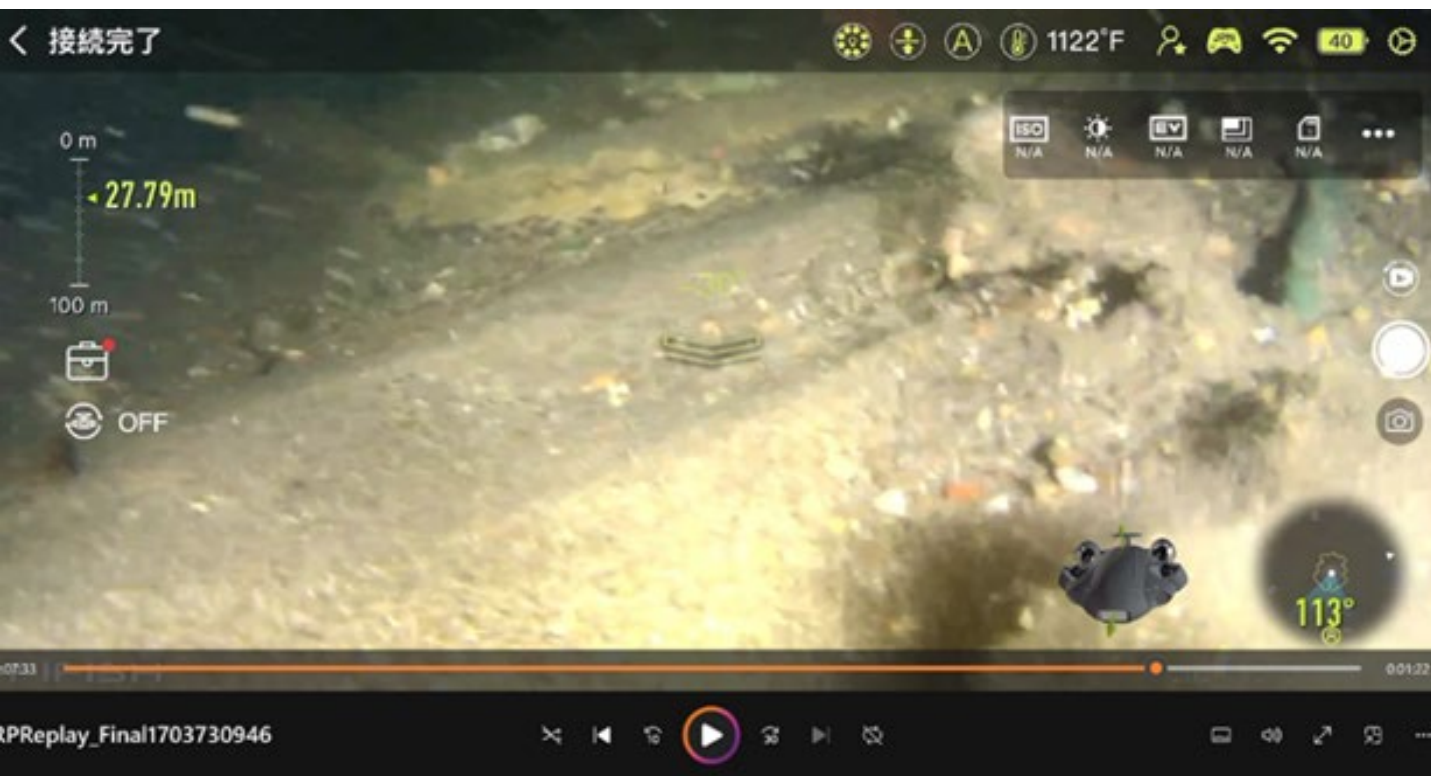


図 水中ドローンによる沈没船の可能性のある構造物の写真  
(芹澤慶行2023年12月28日撮影)



図 早崎水中遺跡第2次調査参加者  
集合写真 (2024年5月31日撮影)



図 早崎水中遺跡第2次調査風景  
(2024年5月31日撮影)

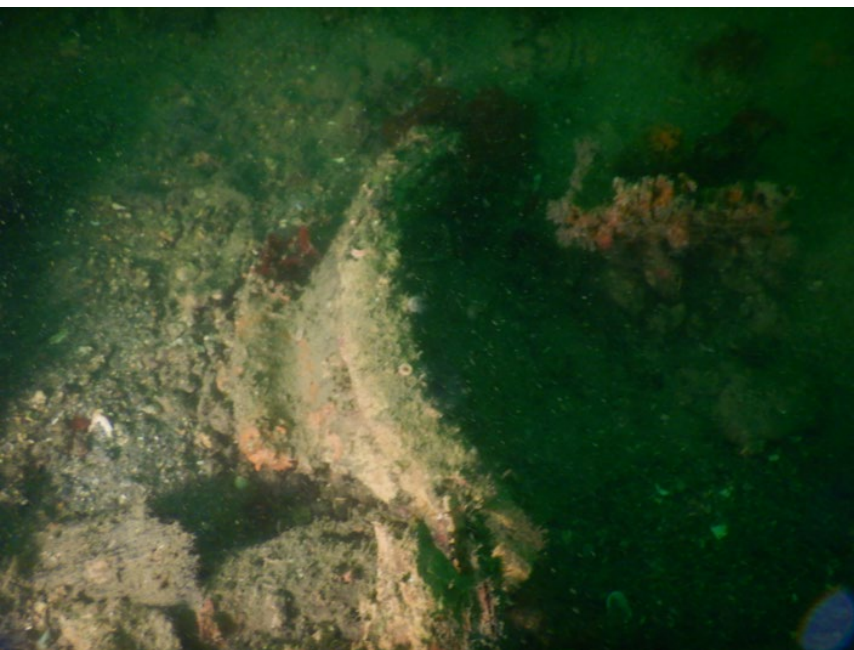


図 2潜水調査によって確認されたやきもの  
(山本俊政撮影)

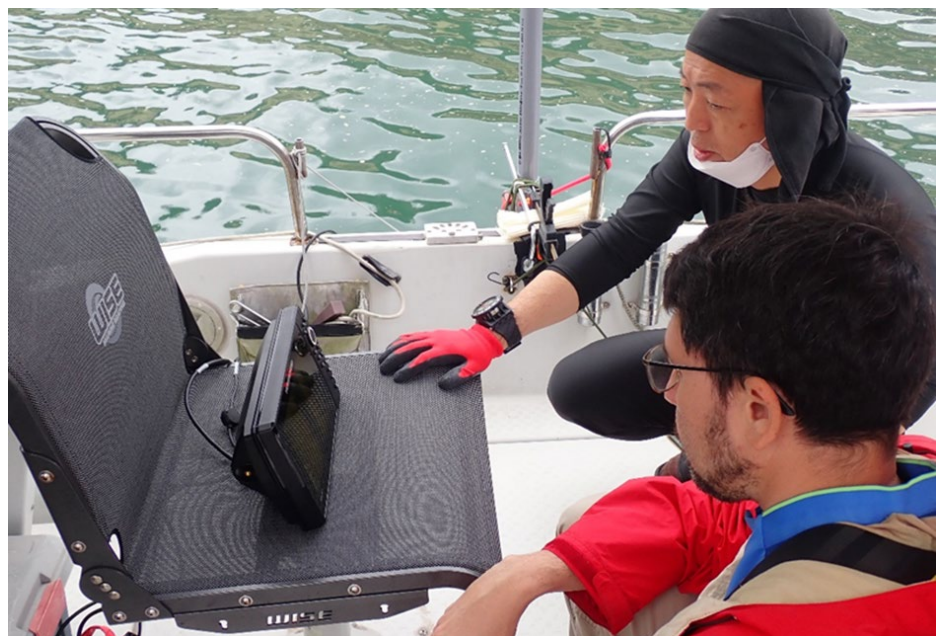


図 早崎水中遺跡第2次調査ソナー  
スキャン作業風景 (2024年5月31日撮影)





図 ダイビングの準備風景  
(2024年5月31日)



図 沈没船の甲板と考えられる構造物  
(山本撮影2024年5月31日)



図 舳先から撮影した船体  
(山本撮影2024年5月31日)



図 a,b C3区 海底  
表面採集  
上:木質② マツ  
鉄・銅を含有する顔料  
が塗布されていた  
中:木質③ スギ  
下:木質① スギ



図 C3区 海底表面採集  
不明鉄製品 鉄分Feは蛍光X線で確認  
された。

木質の同定と遺物の蛍光X線分析は、奈良  
教育大学 金原正明氏、文化財科学研究所  
金原美奈子氏・裕美子氏による。



図 ； C3区 海底表面採集 土師質小皿  
上面観



図 ． C3区 海底表面採集 土師質小皿  
底部（ヘラ切）

表 採集資料属性表

No.	分類	層位	地区	所属時代・時期	備考
1	土師質皿	海底表面	C3区	器形等より12世紀前後と推定	
2	木質①	海底表面	C3区	不明	※材質:スギ
3	木質②	海底表面	C3区	17世紀後半と18世紀後半を主とする時代と推定された	※材質:マツ
4	木質③	海底表面	C3区	不明	※材質:スギ
5	不明鉄製品	海底表面	C3区	不明	※蛍光X線分析装置により同定

※木質の同定と遺物の蛍光X線分析は、奈良教育大学 金原正明氏、文化財科学研究所金原美奈子氏・裕美子氏による。

4 測定結果

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 、 $^{14}\text{C}$ 年代(Libby Age)、pMC) [IAA登録番号:#C503]

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり		
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)	
IAAA-232300	刀の鞘	香川県直島町寺島(瀬戸内海) 風戸港西岸 早崎水中遺跡 海底(水深約18m)	木片	AA A	-0.2 $\pm$ 9	23.55	1,200 $\pm$ 20	86.16 $\pm$ 0.22

表2 放射性炭素年代測定結果(暦年較正用 $^{14}\text{C}$ 年代、較正年代)

測定番号	試料名	暦年較正用(yrBP)	較正条件	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
IAAA-232300	刀の鞘	1,196 $\pm$ 20	OxCal v4.4 IntCal20	781calAD - 790calAD (8.3%) 821calAD - 882calAD (60.0%)	774calAD - 886calAD (95.4%)

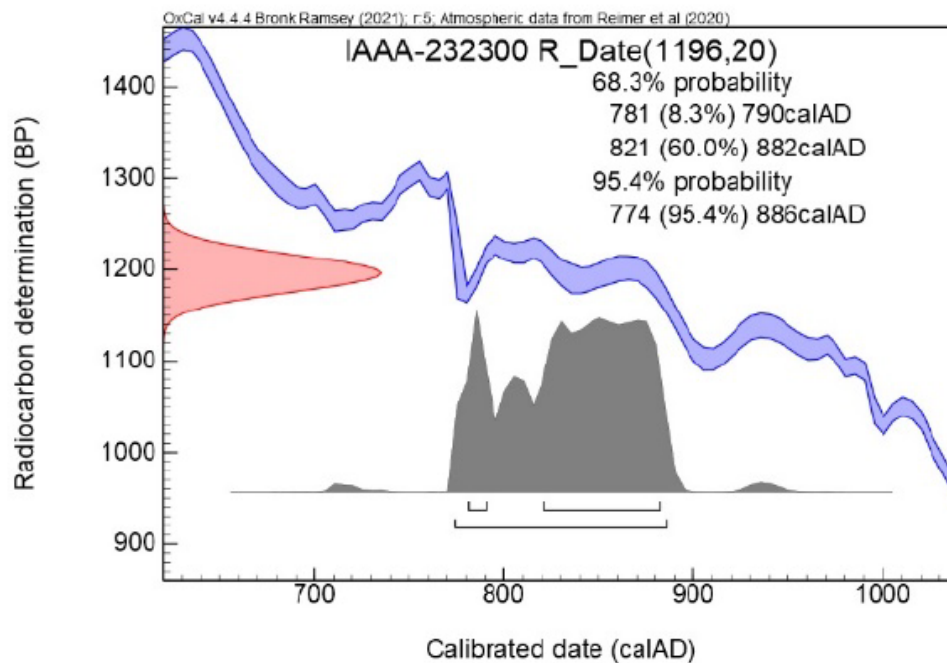


図1 暦年較正年代グラフ

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 、 $^{14}\text{C}$ 年代(Libby Age)、pMC)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-240624	早崎水中遺跡木材2	香川県香川郡直島町早崎海底 早崎水中遺跡 沈船 海底表面	木片	AAA	$-25.11 \pm 0.2$ $\pm 4$	$210 \pm 20$	$97.36 \pm 0.26$

表2 放射性炭素年代測定結果 (暦年較正用 $^{14}\text{C}$ 年代、較正年代)

測定番号	試料名	暦年較正用 (yrBP)		較正条件	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
IAAA-240624	早崎水中遺跡木材2	214	$\pm 21$	OxCal v4.4 IntCal20	1652calAD - 1674calAD (28.9%)* 1767calAD - 1799calAD (39.4%)*	1645calAD - 1684calAD (35.8%)* 1736calAD - 1803calAD (55.1%)* 1936calAD - ... (4.5%)*

(この警告は較正プログラムOxCalが発するもので、試料の $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正年代が、当該暦年較正曲線で較正可能な範囲を超える新しい年代となる可能性があることを表す。)

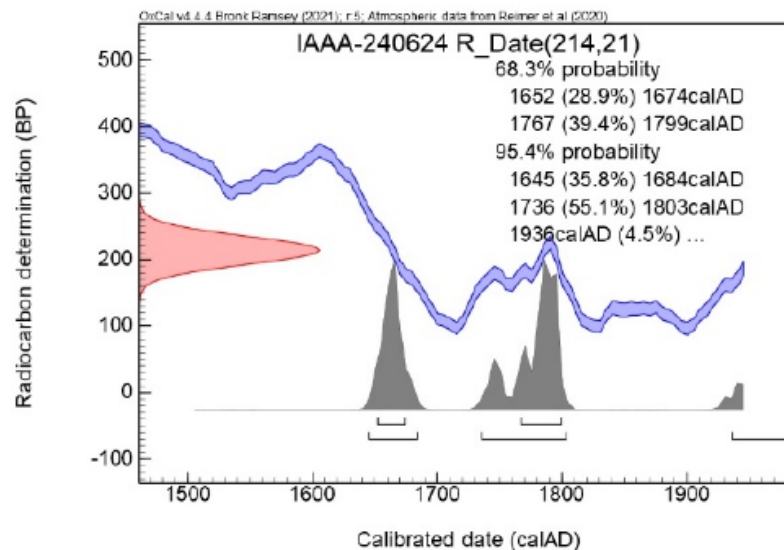


図 暦年較正年代グラフ